





短髮教

R-18

R-18*



導入

絶賛高評価している私が家に帰ると、
そこには十八禁のエロ同人誌が無差別によって無類に散らかされていた。
彼女は驚いた顔に「ニヤニヤしながら近づいてきて」「言えへた。

「スグスグしようぜ。」

「おっおっおっ。おっおっおっ。おっおっおっ。

「やあがぁー……。」「

おお、
相変わらず元気がいいねえ…。
今からしゃぶしゃぶして
あげるからねえ。

あ、

ハムッ

ぎゅ♡



んっ♡

ジュルルル

いっぱい出たね…。
そろそろこっちにもちよーだい。
もう我慢できないの…。



ん♡

あん♡

おっきいのが私の中に入ってくるう!♡

ズッ

ズッ

ん♡

ん♡

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ





ちよつとタイム！
このままだと...その...
出ちやいそうなのだからn

プシュッ...♡♡

ビュッ

ビュッ

プシュッ
プシュッ





もう、

意地悪なんだから...

ハッ

ハッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



エッ♡

仕方ないなあ...。
私が全部搾りつくしてあげる！

んっ！
さっきよりも元気になってて
深いところに刺さってるぅ。

きん

ビーン

ってまだ元気なのか...

たゆん

グン

グン



んっ♡

ずっ♡

ひん♡

あん♡

もっ♡と…。
もっ♡と激しく動いてえ！

私に恥をかかせた分
君のせーえきを一滴残らず
出させてみせるんだからあ！

ぐっ♡

ぐっ♡

ゆっ♡



んっ♡

んっ♡

むぎゅっ

7イッ

びちゃ

あつ！出そうなのね！
私の中にたくさん注いでえ！



